



第 34 回鋼構造基礎講座

「鋼橋設計法の変遷」－設計法の変遷から学ぶ設計者のあり方－

行事コード:25712/略称:34 回鋼構造基礎講座「鋼橋設計法の変遷」

鋼構造委員会・鋼構造継続教育推進小委員会では、土木学会継続教育(CPD)の一環として鋼構造の初級技術者から中級技術者を主な対象とし、第 34 回鋼構造基礎講座「鋼橋設計法の変遷」を開催します。

鋼道路橋の設計基準となる道路橋示方書は、許容応力度設計法を基本に、経済性重視、更新ストックの増加、海外企業への門戸解放などの時代的要因、及び解析能力や製造技術などの技術的な要因等で変遷してきました。このようななか、近年、計算能力の向上とともに、疲労や防食などの耐久性の向上を目指した合理的な構造などが提案されています。また、鋼道路橋の設計法では、新たに部分係数設計法の導入が検討されています。本講座では、各構造細目の設計法について、道路橋示方書での変遷とその設計法について紹介するとともに、今後の設計法における課題について着目して話題提供をしていきたいと思ひます。

「鋼橋設計法」をこれから勉強したい方、「鋼橋設計法」に関する課題で悩まれている方など、ふるってご参加下さい。

1. 主催 土木学会（鋼構造委員会 鋼構造継続教育推進小委員会）
2. 期日 2017 年 11 月 28 日（火）10：00～17：05
3. 会場 土木学会 2 階 講堂（東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）
4. 定員 80 名程度
5. 参加費 正会員 7000 円、非会員 8000 円、学生 2000 円（テキスト（CD 付）代を含む）

6. プログラム

10:00 ～ 10:10 開会のあいさつ

勝地弘（鋼構造継続教育小委員会委員長）

10:10 ～ 11:40 道路橋示方書の変遷－床版構造の設計法の変遷をトピックに－

玉越隆史（土木研究所上席研究員）

11:40 ～ 12:45 休憩

12:45 ～ 13:45 デッサンから始まる橋梁設計

松井幹雄（大日本コンサルタント(株)）

13:45 ～ 14:45 設計法の変遷

1) 継手－HTB 継手の変遷と今後－

山口隆司（大阪市立大学教授）

14:45 ～ 15:00 休憩

15:00 ～ 16:00 設計法の変遷

2) 耐震設計(支承)－耐震設計基準の変遷と大地震からの反映－

大住道生（土木研究所上席研究員）

16:00 ～ 17:00 設計法の変遷

3) 鋼構造－鋼構造の耐荷力設計の変遷－

小野 潔（早稲田大学教授）

17:00 ～ 17:05 閉会のあいさつ

山口恒太（鋼構造継続教育小委員会）

司会 町田文孝（鋼構造継続教育小委員会）

谷口和昭（鋼構造継続教育小委員会）

なお、当日の講演内容、時間、講演者、講演順序等につきましては、都合により変更の場合がありますのでご了承下さい。

7. 申込方法

学会誌綴込みもしくは土木学会ホームページ内 (<http://www.jsce.or.jp/event/active/form.pdf>) の「本部参加申込書」に所定の事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課行事担当宛に FAX（03-3355-5278）でお申し込み下さい。申込書到着後、開催1週間前までに「参加券」をお送りいたします。

土木学会個人会員の方は土木学会ホームページ

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>) から申し込みが出来ます。

※申込みに関してのお願い

- (1) 申込締切日前に定員に達している場合がございますのであらかじめご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場で受付いたします。
- (2) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに下記「申込問合せ先」にご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのであらかじめご了承ください。
- (3) 申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

8. 申込期限 2017年11月14日（火）

9. 問合せ先 （公社）土木学会鋼構造委員会（事務局担当：尾崎）

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内 TEL 03-3355-3559

MAIL fumiharu-ozaki@jsce.or.jp（“at”を@に変更して下さい）

10. 詳細 <http://www.jsce.or.jp/event/frameset.htm>